

平成28年度学内版 GP 成果報告書

取組名称	行政機関等における模擬体験を通じた実践的学習	
実施組織 (または対象のカリキュラム)	経法学部	
※連携する他学部・機関 がある場合は記入		
実施責任者(所属)	山沖義和 (経法学部)	
取組の目標	<p>① 受入機関の中核業務を模擬的に体験させ、受入機関との連携を高め、研修内容を充実させる。</p> <p>② 受入機関と緊密な協議を行うことによって教材の整備を進める。</p> <p>③ 「信州大学モデル」として発信し、受入機関・他大学に働き掛けることによって全国展開に結び付ける。</p>	
<p>1. 目標達成のために行った活動と成果 (箇条書きで項目ごとに番号を付けて記載。成果の詳細は必要に応じて別添とする)</p>	<p>① 松本税務署・長野労働局・長野県警・松本市役所において模擬体験を実施し、その際、前回の反省を踏まえ内容の充実を図った。特に、松本市役所に対しては政策部長等と研修内容の見直しの方向について協議を行った。</p> <p>② 受入機関の出先だけでなく、研修内容の充実に消極的な上級官庁の幹部にも直接に働き掛けることによって、研修内容の充実とともに、教材の整備を進めた。</p> <p>③ 8月には仙台国税局長と調整の上、東北公益文科大学に本取組を紹介し、10月に同大学において実施。また、10月に開催された十二大学経済学部長等懇談会(福島大学も参加)において「信州大学モデル」として本取組を紹介したところ、2月に福島大学からの要請を受け、同大学・福島労働局との間で実施に向けた調整を仲介した。この他、高崎経済大学・茨城大学でも実施され、来年度には新潟大学でも実施する方向で調整中である。</p>	
<p>2. 目標達成度に関わる所見と今後の展望 (達成の度合いを選び、そう評価する理由と今後の展望を記述)</p>	<p>a. 達成できた</p> <p>b. おおよそ達成できた</p> <p>c. 半ば達成できた</p> <p>d. おおよそ達成できなかった</p> <p>e. 達成できなかった</p>	<p>(そう評価する理由)</p> <p>① 税務実習では模範演技を示すことによって研修内容が充実し、長野県庁・松本市役所職員も実習を受けるほどのものとなっている。また、松本市役所に対しては働きかけを行った結果、内容が充実した。</p> <p>② 今年度は税務実習・労働実習について教材の保存を開始した。</p> <p>③ 全国展開については、進行中も含めて5大学で実施。また、受入機関の1つである国税庁においては全国国税局長会議において本校の取組みが紹介された。</p> <p>(今後の展望)</p> <p>① 本校教員が全ての実習に立ち会い、実習後に受入機関との間で研修の充実について協議を行う予定である。 新しい実践系科目の創設に向けて模索する。</p> <p>② 毎年度、教材を整備し、内容の充実を図っていく予定である。</p> <p>③ 全国展開に向けて引き続き普及活動を実施する。</p>